



# 安心・安全に 装具をお使いいただくために

## — 下肢装具編 —

装具は病気やケガなどにより機能を失った手足の補助をし、お客様の日常生活をサポートする大切な補助器具です。安心して装具をご利用いただくために今回は下肢装具についてご説明いたします。

### 装具の 利用目的

例えば、脳卒中による後遺症として身体の片側に麻痺が残ると、立つのが不安定になったり、歩き出そうとした時に足先が下がり転びそうになります。下肢装具は思うように動かなくなった身体を支え、立つ事や歩く事をサポートします。

プラスチック製  
短下肢装具



両側支柱付き  
短下肢装具



オルトトップ AFO



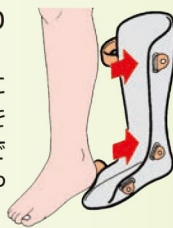
ゲイトソリューション デザイン

### 装具の 装着について

装着の仕方が良くないと歩きにくかったり、足を傷つけてしまう事があります。装具は正しく装着しましょう。

#### 装着時のポイント！

かかとをしっかりと奥まで入れます。  
※かかどが入りにくい時は、膝を曲げた状態で入れると入りやすくなります。



最初に足首の関節に近いベルト①からしめてください。  
次に②、③のベルトをしめます。  
②、③はどちらが先でも構いません。  
※最後にもう一度①のベルトをしめ直す事でかかどがしっかり止まります。



装具は毎日の  
生活をサポート  
します



安全に立つための  
サポート



安全に歩くための  
サポート

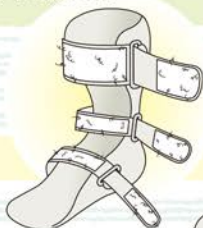
自立した生活の  
サポート



## 装具の修理

ベルトや底材は消耗品です。定期的な修理が必要です。また、ヒビが入り割れることもありますので、装着前にチェックしてください。

ベルトのほつれ



底材のはがれ

ヒビ、白い濁り



## 適合の確認

装具は身体に適合している事がとても大切です。体重の増減や足首の動く範囲が変化すると装具と身体が合わなくなってきます。無理に使用を続けると足を傷つけたり、歩きにくくなり転倒の危険性が高まります。

ベルトが届かない    すき間が大きい    傷ができる



踵が奥まで入らない

図の状態になれば注意が必要です。医師・リハビリの先生・弊社などにご相談ください。



# 下肢装具について Q & A



## Q.1

装具は何年ぐらい使えますか？



特に決まっていません。但し、装具には目安として耐用年数が決められています。年数が経過して修理で対応できない破損や、著しい身体状況の変化によって適合しない場合は作り替えをご検討ください。まずは、医師やリハビリの先生、行政等の各関係機関にご相談ください。

〔耐用年数〕

	両側支柱	3年
短下肢装具	プラスチック(支柱なし)	1.5年
	軟性	2年

## Q.2

介護保険で装具はつくれますか？



介護保険制度で装具はつくれません。

## Q.3

友人が使っている装具と同じものが欲しい。



装具はご利用される方の症状や生活環境に応じて製作します。ご希望の装具がご自身の身体に合うかどうか重要です。

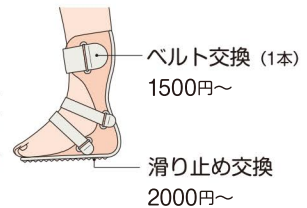
まずは医師やリハビリの先生・義肢装具製作会社にご相談ください。装具に関するご希望はご遠慮なくお話しください。

## Q.4

ベルトと底の滑り止めが傷んできたので自費で修理したい。いくらかりますか？



ベルトや滑り止めは様々な種類・仕様がございますので、詳しくは弊社担当者にお問合わせください。右記は弊社参考価格となります。



## Q.5

修理の際は装具を預けないとダメですか？



きれいにきっちり仕上げる為に、数日間お預かりさせて頂く事をお願いしていますが、持ち帰らずに現地で修理できることもありますので、弊社担当者にご相談ください。

## Q.6

装具を新しくつくるのに費用はいくらかりますか？



装具の種類や仕様によって様々ですが、身体障がい者手帳を利用して手続きする場合、お客様のお支払いは1割負担となります。

例) プラスチックの短下肢装具/約¥46,000-とすると、お客様のお支払いは1割負担の約¥4,600-となります。

\*金額は仕様により様々ですので詳しい内容は各義肢装具製作会社へお問い合わせください。

\*医療保険で治療用装具を製作する場合は、一旦全額お支払い頂いた後に、7~10割が償還(返金)されます。